

令和4年6月27日

各 位

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会 長 間 山 一 典

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会主催
第 32 回技術研究発表会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から本協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本協会より発行致しました令和3年度技術報告集（第36号）の発表会を、別紙実施要領のとおり第32回技術研究発表会として開催致します。本発表会を通じて、会員等における技術力向上、相互理解を深めることを期待しておりますので、ぜひご参加下さい。

今年度は、東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」にて、集会方式で発表会を開催します。併せて Zoom ウェビナーによるオンライン配信も実施しますので、奮ってご参加をお願いします。

なお、会場への参加は収容人数の制約から、ご希望に添えない場合もありますので、ご承知おき下さい。

現在、水コン協継続教育（CPD）プログラムの認定書発行に向けて手続中です。午前の部のみ、または午後の部のみ聴講される方へも発行しますのでご活用ください。

敬具

第 32 回技術研究発表会実施要領

I. 主 催	公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 技術・研修委員会
II. 日 時	令和 4 年 7 月 27 日 (水) 10 : 00 ~ 17 : 00 (発表会場受付開始 9 : 30、Zoom ウェビナー入室開始 9 : 30)
III. 発表会場等	・アルカディア市ヶ谷 6 階 阿蘇の間 (集会方式) アルカディア市ヶ谷への交通アクセス ; https://www.arcadia-jp.org/access/ ・Zoom ウェビナーを用いたオンライン発表併用 (一方向ライブ配信)
IV. 内 容	発表論文 令和 3 年度技術報告集 (第 36 号) 掲載論文 (プログラム参照) https://www.suikon.or.jp/activity/publishing/tech_report/036/index.html
V. 参加定員	・発表会場参加者 : 定員 50 名 (ただし、水コン協会員に限る) ※申込多数の場合、申込締切日以降に技術・研修委員会にて調整いたします。 発表会場にご参加いただく方は、水コン協事務局から連絡が届いた方のみとさせていただきます。会場参加希望者は、Zoom ウェビナーへの登録もお願いいたします。 ・Zoom ウェビナー参加者 : 定員 500 名 ※定員に達しましたら先着順で締切ります。
VI. 参加申込	水コン協 HP から直接申込み下さい。 今回の技術研究発表会では招待 URL を発行しません。参加申込受付時の返信メールに「Zoom ウェビナー ID、ウェビナーのパスコード」を記載しますので、各自で (Zoom ウェビナーに) 氏名及び視聴用メールアドレスの登録をお願いします。 申込締切日 : 7 月 12 日 (火) 17 : 00
VII. 発表資料	<u>発表用資料 (PDF) については、7 月 20 日(水) 水コン協 HP の申込サイト内にアップしますので、参加者各自でダウンロード・印刷していただくようお願いします。</u> ■資料掲載ページ https://www.suikon.or.jp/ ※準備が出来次第、上記 HP にてお知らせいたします。
VIII. 参加費	無 料
IX. その他	お問い合わせ等は、以下までお願いします。 (公社) 水コン協事務局 TEL.03-6806-5751 は ず 担 当 幡 豆 英 哉

【別紙】

Zoomウェビナー受講要領

1. 視聴用メールアドレスの登録等

- ・今回の技術研究発表会では、事前に参加者各自でZoomウェビナーに視聴用メールアドレスを登録する必要があります。
- ・視聴用メールアドレスの登録方法は、申込受付時の返信メールに「ウェビナー ID、ウェビナーのパスコード」を記載しますので、早めに登録をお願いします。登録が完了すると「第32回技術研究発表会確認」のメールが届きます。
- ・研究発表会開始30分前の9:30からアクセス可能です。上記確認メール内にリンクが貼ってありますので、「ここをクリックして参加」から入室してください。
- ・聴講はインターネット環境に左右されたため、有線LAN接続のPCを推奨します。

2. 動画及び音声の配信方法

- ・発表は一方通行のライブ配信となります。
- ・発表会開始前に、司会が音声テストを行いますので、画面が見えない・音が聞こえないなど問題が生じた場合には、Zoomのチャット機能でホストPCにご連絡ください。

3. 質疑応答

- ・発表内容に関するご質問は、①発表会場参加者、②Zoomウェビナー参加者の順番で受け付けます。
- ・上記②の場合、各発表中に「Q&A機能」に質問を書き込んで下さい。ご質問は、簡潔をお願いします。
- ・発表時間中に、発表者が質問にお答えします。

なお、時間の制約等から全てのご質問にお答えできない場合がありますことを、あらかじめご承知おき願います。

4. アンケートへのご協力とCPDプログラム受講証明書の発行

- ・Zoom ウェビナーは各人の入退場時間の記録がリストで出力されます。発表会終了後、CPDプログラム受講証明書の発行をご希望される方は、入場時間～退場時間の厳守をお願いします。
- ・本研究発表会終了後（概ね14日程度）に、アンケートへのご協力についてメールによりご案内いたします。
- ・CPDプログラム受講証明書の発行については、アンケートにご回答いただいた方に限り、水コン協CPD発行システムからダウンロードが可能となります（ただし、1回限り）。

第32回技術研究発表会プログラム

2022年7月27日(水)

アルカディア市ヶ谷 6階阿蘇 (Zoomウェビナー併用)

時間	題 目	所 属	氏 名	司 会	報告集 ページ
10:00 ~10:05	注意事項の説明			岩竹副委員長	
10:05 ~10:10	会長挨拶	水コン協会長	マヤマ 間山 カズノ 一典	岩竹副委員長	
①10:10 ~10:30	水源施設における監視カメラの最適配置	株式会社東京設計事務所 東京支社 デザイン 第3グループ 設備第2チーム	カギヤマ アキノ 鍵山 明典	岩竹副委員長	1
②10:30 ~10:50	配水池の二次元フレーム・ばねモデルの三次元効果の一手法	株式会社日本水道設計社 上下水道1部	サカキ ナホキ 榊 信昭	岩竹副委員長	7
10:50 ~10:55	司 会 交 代				
③10:55 ~11:15	運用の継続を伴う配水池更新の実現に向けた ダウンサイジング等の検討事例	日本水工設計株式会社 東京支社 水道部 設計二課	タライ アキラ 樽井 公	辻委員	13
④11:15 ~11:35	水道基盤強化計画策定に向けた複数の水道事業体 における水道施設の最適配置計画の検討事例	株式会社N J S 水道本部 企画戦略部	ニシヤマ ユウスケ 西山 優輔	辻委員	19
⑤11:35 ~11:55	アセットマネジメントにおける資産情報の整理 手法に関する考察	オリジナル設計株式会社 水インフラ本部 コンサルティング一部 プランニング課	ミヤモト コウイチ 宮元 孝一	辻委員	25
11:55 ~13:00	昼 食				
⑥13:00 ~13:20	工業用水道事業におけるアセットマネジメントの 事例報告	株式会社日水コン 水道事業部 東部水道部	ニシカワ シュント 西川 峻登	頼原委員	31
⑦13:20 ~13:40	雨水レベルアップ整備事業による雨水排除計画の 実施設計事例	株式会社極東技工コンサルタント 大阪本社 設計部	ナカガキ シンスケ 長和 慎介	頼原委員	37
⑧13:40 ~14:00	平坦な住宅密集地における雨水幹線増強工事の 詳細設計事例	株式会社 三水コンサルタント 西日本事業 本部 中部事業部	フジモト ヨシツグ 藤本 佳嗣	頼原委員	43
⑨14:00 ~14:20	密集市街地の浸水解消における事業間連携下水 道事業計画の策定事例	オリジナル設計株式会社 西日本施設部 計画課	ナカシオ トモキ 中塩 知紀	頼原委員	49
⑩14:20 ~14:40	三次元非定常流体解析による横越流堰の越流量 推定	中日本建設コンサルタント株式会社 水工技術 本部 第1部 第2課	オウムラ モトナオ 奥村 元尚	篠永委員	55
14:40 ~14:50	休 憩				
⑪14:50 ~15:10	A I を活用した下水道管渠の異常判定	株式会社日水コン 下水道事業部 東部計画 管路部 技術第1課	イシイ アツシ 石井 敦	篠永委員	61
⑫15:10 ~15:30	樹木根侵入を配慮した管路施設修繕・改築計画 策定事例	玉野総合コンサルタント株式会社 上下水道部 上下水道第一課 (7月1日～、日本工営都市空間(株)に社名変更)	タナカ リョウゴ 田中 亮伍	篠永委員	67
⑬15:30 ~15:50	大規模浸水に対応した下水処理場の耐水化対策 計画	株式会社東京設計事務所 九州支社 技術 グループ 上下水道第2チーム	エンドウ ケイゴ 遠藤 圭吾	鈴木委員	73
⑭15:50 ~16:10	下水処理場におけるし尿受け入れ基本計画検討 事例	日本水工設計株式会社 東京支社 下水道一部 設計一課	タニカワ モモコ 谷岡 桃子	鈴木委員	79
⑮16:10 ~16:30	下水道の効率的・効果的な事業運営に向けた 新たな民間活用方法について	株式会社N J S 東部支社 東京総合事務所 アセットマネジメント2部	コマ ヤスフミ 小間 康史	鈴木委員	85
16:30 ~16:50	休 憩				
16:50 ~17:00	講評及び表彰式	技術・研修委員会副委員長 技術・研修委員会委員長	イワタケ カノ 岩竹 貴則 タカハシ ユキヒコ 高橋 幸彦	藤井委員	